２０１４年１２月２２日

高 野 律 雄市長殿
浅 沼 昭 夫教育長殿
府中市教育委員会各位（崎 山 弘殿　齋 藤 裕 吉殿　村 越 ひろみ殿　松 本 良 幸殿）

東京都環境局推薦の小学校への太陽光発電設備設置の寄付についてのお尋ね

府中市社会教育関係団体　自然エネルギーを考える会
浅間町３－１８－１　６０１　会長　　宮井迅吉

私たちは自然エネルギーの可能性を学び、広く社会に普及させることを念頭に、学習、研究をしている府中市の社会教育関係団体です。市内の学校の太陽光発電設備を見学させていただき、別紙のようにそのお礼とともに去る７月２４日には各種の要望を提出し、懇談もお願いしているところです。

さて、https://www.asahibeer.co.jp/news/2014/sd-8/tokyo.html で紹介されているように

アサヒスーパードライ「美しい日本に乾杯！～うまい！を明日へ！プロジェクト～
第 8 弾

『アサヒスーパードライ』ブランド対象商品の売上 1 本につき 1 円※を、
東京都では“都内公立小学校への太陽光発電設備設置”に活用

※期間限定、対象商品限定

昨年実施した東京都における寄付金額累計は、2,014 万 9,189 円

といったアサヒビール株式会社殿による寄付活動が東京都環境局の推薦によって過去 5 年間にわたって実施されています。まずはアサヒビール株式会社殿の先進的な CSR 活動に敬意を表したいと思います。

１．そこでお尋ねします。この事業はすでに都内１１市１４区２町１村で実施されていますが、府中市には推薦依頼があったのでしょうか。なかったとすれば府中市としても積極的に申し出るべきと考えます。
２．あったとすればどのように対処されたのでしょうか。聞き及ぶところでは府中市は公共施設への太陽光発電設備の設置は新規に建築したものから順次設置する方針で既存の施設に取り付けることはしないとの方針と聴いていますが、他市では多くは既設の校舎に設置していると聞きます。新築でない限り取り付けないという方針では、せっかくの寄付の申し出の機会を失い、他市と比べても遅れをとるだけでなく環境学習に関する生徒たちの地域間格差をそのままにすることになり、父兄、市民の立場から見ても看過できません。即刻、寄付の申し受けを丁重に願い出るべきと考えます。
３．新設の施設にしか取り付けないという方針は何を根拠に決めたのか、太陽光発電設備の設置技術等の日進月歩の実情も踏まえたうえで再検討され、合理的な理由を失っている場合にはこの方針を撤回されるようお願い致します。文部科学省も工夫を凝らして設置を進めるべきとの方針と聴いています。

本質問に対して文書回答の前に補足説明のための懇談の場を設けて下さい。過去に私たちの陳情に対して陳情趣旨から反れた文書回答が届けられてその解決に難儀した経験があります。

以上